



館長からのメッセージ

県内全域で利用できる図書館サービス

当館では、県民の皆様が図書館サービスを気軽に利用できるよう、市町村立図書館とのネットワークを強化し、広域サービスの充実を図ってきました。

地元図書館にはない図書や資料を地元図書館が他の図書館から借りて利用者に貸し出す「相互貸借」と、特定の図書等をどの図書館が所蔵しているか一度に検索できる「横断検索システム」は、このネットワーク全体が一つの図書館として機能するようにし、県民サービスを向上させる目的で実施しているものです。

当館固有のサービスについても、遠隔地の皆様が来館しなくても利用できるよう、当館ホームページから申込みれば地元図書館で図書等の受取・返却ができる「インターネット予約貸出」、当館で借りた図書等を地元図書館で返却できる「遠隔地返却」などの広域サービスを、市町村立図書館の協力をいただきながら順次実施してきました。

また、当館の「利用カード」は郵送で申込みが

でき、「レファレンス（図書・資料に関する調査相談）」や当館所蔵資料の「複写」は文書、メール等でも受け付けています。

さらに、ホームページを充実し、当館に関する情報や各種の参考情報をタイムリーに提供できるよう努めているところです。

このような中、当館が昨年11月に実施した「県民アンケート調査」では、これらの広域サービスやホームページについて、県民の皆様には必ずしもよく知られていないという状況が明らかになりました。

図書館サービスの最大の目的は、図書や各種の資料・情報が十分に利用され、県民の皆様的心を豊かにするとともに、暮らし、仕事、趣味、調査研究等の役に立つことにあります。

この調査結果を踏まえ、今後、広報活動に特に力を入れていきます。

「県立」の図書館として、県内全域の皆様 서비스에内容を知っていただき、有効に活用していただくことを願っています。

(館長 佐藤 禎介)

館長からのメッセージ.....	1	お知らせ.....	6
利用者満足度調査の結果.....	2	最近のレファレンスから.....	7
県民アンケート調査の結果.....	3	こんなとき困るんですけど.....	8
「絵本原画展」と「手づくり絵本コンクール」...	4	交通案内（県立図書館へのアクセス）.....	8
当館のご利用状況.....	5		

利用者満足度調査の結果

平成23年11月15日から23日までの7日間、来館者の皆様の当館のサービスに対する満足度、認知度及び意見・要望等を把握するためのアンケート調査を行い、486名の皆様からご協力をいただきました。

調査結果の概要は次のとおりです。

当館の利用目的

「趣味・娯楽に関する情報・知識を得る」と回答された方が27%、次いで「資格試験、学校等の勉強」が18%、「日常生活に必要な情報・知識を得る」が17%、「仕事に関する情報・知識を得る」が13%などでした。

資料の種類・数量及び探しやすさに対する満足度

「図書の種類・数量」、「新聞の種類・数量」及び「資料の探しやすさ」のいずれの項目も、60～70%の人が『満足』（※1）と回答しており、『不満』（※2）は10%以下でした。

開館時間、休館日、貸出期間等に対する満足度

『満足』が、「開館時間」及び「貸出期間」の項目では70%台後半、「休館日」及び「貸出点数」の項目では、いずれも概ね70%でした。

図書館のサービスに対する認知度及び満足度

サービスの認知度では、「レファレンス」及び「相互貸借」が、いずれも『知らなかった』が30%台で、「予約」などのサービスと比較して相対的に低い認知度でした。

また、サービスを利用しての満足度では、『満足』が「レファレンス」で84%、「相互貸借」、「予約」「リクエスト」で70%台、「インターネット予約」68%などでした。

「縣人文庫」の利用度については、「見たことがある」が65%、「見たことがない」が27%でした。

「ホームページ」及び「利用者検索端末（OPAC）」の利用度では、「見た（利用した）ことが

ある」と「見た（利用した）ことはない」がいずれも40%台でした。

施設の快適さ・使いやすさ、職員の対応に対する満足度

「施設の快適さ」、「閲覧席」及び「職員の対応」の項目では、いずれも『満足』が70%以上ですが、「駐車場」は『満足』が32%、『不満』が30%で、相対的に低い満足度となっています。

総合的な満足度

総合的な満足度については、『満足』と回答された方が83%でした。

利用者像

利用頻度は、「月1回以上」が84%で、その内「週1回以上」が37%でした。

年齢別では、「60代」が20%で最も多く、その他の各年代は10%台前半でした。

交通手段別では、自家用車が40%、自転車・バイクが28%、徒歩が20%などとなっています。

滞在時間別では、「2時間未満」の利用が70%を占め、その内「1時間未満」が42%となっています。

まとめ

前回調査と比較できる項目は、いずれも数%～30%程度、満足度・認知度が向上していますが、未だ低い項目も散見されます。

この調査結果を踏まえ、各種図書館サービスの一層の周知や具体的な利用方法のPRを行うなど、よりよい図書館サービスを提供できるよう、今後とも努めてまいります。

なお、詳細な調査結果については、ホームページに掲載しておりますのでご覧ください。

※1 『満足』の割合は、アンケートの「満足」と「やや満足」を合計した数字です。

※2 『不満』の割合は、アンケートの「不満」と「やや不満」を合計した数字です。

県民アンケート調査の結果

平成23年11月、県内各地域の県民の皆様の当館のサービスに対する認知度及び意見・要望等把握するため、アンケート調査を行いました。

この調査は、県総合支庁や天童市、新庄市、米沢市、鶴岡市、酒田市の各公立図書館の協力を得て実施したところ、415名の県民の皆様から回答をいただきました。調査結果の概要は次のとおりです。

県立図書館来館の有無

当館に来館したことが「ある」と回答された方が37%、「ない」が63%で、来館したことがある人の54%が「年数回」の利用という結果でした。

なお、「ない」と回答された方の理由は、「遠いから」が58%、「地元の図書館を利用しているから」が23%、「図書館を利用する必要を感じないから」が8%などでした。

地元図書館の利用頻度

地元図書館の利用頻度については、「週1回以上」と回答された方が21%、「月1回以上」が33%で、「利用しない」は26%でした。

非来館者向けサービスの認知度

「知らなかった」と回答された方が、「相互貸借」が51%、「レファレンス」が71%、「インターネット予約」が66%、「宅配」が85%となっており、当館に来館しなくても利用できるこれらのサービスが、県民によく知られていない状況が認められました。

また、これら非来館者向けサービスを「利用したことがある」と回答された方のサービス内容は、運用の定着した「相互貸借」が16%ですが、「レファレンス」が4%、「インターネット予約」が6%、「宅配」が0.3%と極めて低い状況でした。

縣人文庫の認知度

当館内に常設している縣人文庫について、「知っている」と回答された方は19%、「知らなかった」が78%でした。

ホームページの認知度

「見たことがある」が22%、「見たことはない」

が75%でした。

「見たことがある」と回答された方の項目を見ると「蔵書検索」が14%、「利用案内」が10%、「横断検索」が8%などとなっています。

ホームページには以下のように様々な項目があり、読書や調べものの手助けとなりますので、是非一度ご覧ください。

主な項目	内 容
利用案内	開館日の案内や利用登録の方法等の説明
蔵書検索	県立図書館にある資料の検索予約も可能（要登録）
横断検索	県内図書館にある資料の一括検索
山形県関係文献目録	山形県に関する項目についての解説、文献紹介
ブックガイド	テーマ別の新着図書案内
レファレンス事例	県立図書館の調査相談事例について紹介
郷土資料参考図書	分類ごとに郷土資料を紹介
縣人文庫	全国的に活躍された県出身者22人について紹介
貴重資料画像	県立図書館が所蔵する貴重資料を画像で紹介
絵本の本棚	絵本選びの参考になるテーマ別リスト
展示資料リスト	ヤングアダルトおすすめ本、過去の展示資料について紹介
リンク集	調べ物をする際に役立つ情報源等について紹介

まとめ

調査の結果、当館のサービスが県民の方によく知られていないことがわかりました。

さらに、自由意見では「サービスを知っていればもっと使ったのに」、「もっと周知してほしい」という声が多く寄せられました。

この調査結果を踏まえ、今後、特に当館の非来館者向けサービスやホームページの活用について、県民の皆様にご協力いただくための取組みを、各市町村立図書館の協力もいただきながら推進してまいります。

また、サービス内容の充実やホームページの改善なども引き続き進めるなど、より県民の「役に立つ図書館」となるよう努めてまいります。

なお、詳細な調査結果については、ホームページに掲載しておりますのでご覧ください。

「絵本原画展」と「手づくり絵本コンクール」

『ママー！今度はブルドーザーの本読んでえ～！こっちに鳥さんのお家がいっぱいあるよ。』普段は静寂な館内に響きわたる幼な子の声、その目はキラキラと輝いている。絵本作家「鈴木まもる氏絵本原画展」での情景です。

当館では、平成23年度新規事業として「絵本原画展」と「手づくり絵本コンクール」を開催しました。

いずれの事業も、テレビゲームやインターネットの急速な普及による子どもの活字離れなどが問題視されるに伴って子ども読書活動の重要性が再認識されている今日、“本好きな子どもを育む動機付けとなれば”との思いで企画したものです。

「絵本原画展」は、財団法人山形県生涯学習文化財団が主催する「絵本作家講演会」とタイアップして、当講演会講師の鈴木まもる氏の絵本原画といたしました。

静岡県下田市在住の鈴木まもる氏は、絵本作家であると同時に、鳥の巣研究者としても知られている方です。



展示会場は、多くの絵本原画作品群とその絵本、制作に用いたスケッチブックや絵筆などのほか、氏が集めた本物の鳥の巣や世界の鳥の巣パネルなども展示しており、ユニークな絵本原画展となりました。

それぞれの鳥の巣には、鳥種に応じた巣の特徴、営巣の素材や場所、外敵等から身を護るための工夫など、鳥種間で比較できるわかりやすい解説が添えられており勉強になります。

開催期間は、10月27日からの2週間。読書週間に合わせ、かつ講演会との相乗効果を狙って講演

日を挿む期間としました。この間、1,300人を超す観覧者が訪れてくださいました。

これを契機に「本好きな子ども」が少しでも増えることを期待しています。

「手づくり絵本コンクール」では、県内の高校生以下の子どもを対象に募集したところ、111点の応募がありました。作品はいずれも、子ども特有の想像力豊かでユニークな発想と卓越した表現力があるものばかりで、そのレベルの高さに驚かされます。

選考は、公正を期するために赤木かん子氏・富樫彰三氏・長谷部恵美子氏・横山和江氏の4名の有識者にお願ひし、オリジナル性やストーリー性の高さなどの諸項目について厳正な選考の結果、下記の作品が受賞しました。

受賞作品は、当館において展示するなど、できるだけ県民の皆様にご披露できるよう心がけました。

また、山形市のビッグウイングを会場に表彰式を行うとともに、最優秀賞受賞者自らが作品の発表を行いました。

なお、最優秀賞作品については、製本し、当館の蔵書とするとともに、県内の各公立図書館に配備しましたので、是非ご覧になってください。

(運営企画専門員 富樫 秀幸)

受賞作品一覧

	賞	作品名	氏名
幼児・児童の部	最優秀賞	ハエたろうのぼうけん	鍋谷 真菜
	優秀賞	すいか	越田 陽乃
	優秀賞	ふしぎなめがね	工藤あすな
	佳作	しまくんのひまわり	甲谷真唯子
	佳作	なみだが出そうになったら	齋藤喜久瑛
生徒の部	佳作	がんばれ！ だい	安孫子幸多
	最優秀賞	ポロロとシロのたくはいびん	伊藤 千尋
	優秀賞	ねこのさくら	檜岡 陸歩
	佳作	さんぽ、さんぽ	海老名ゆき乃
	佳作	ファーディーとアンジェリカの冒険	板坂 彩理 土田華奈江

(敬称略)

当館のご利用状況

図書館の利用状況

(各年4月～12月)

区 分	開館日数 (日)	入館者数 (人)		新規登録者数 (人)		館外貸出資料数 (冊)	
		総数	1日平均	総数	1日平均	総数	1日平均
22年	222	169,382	763	2,067	9.3	138,955	626
23年	220	156,609	712	2,040	9.3	133,842	608

蔵書の状況

区 分	1月～12月購入・寄贈冊数				12月31日現在蔵書冊数			
	図 書	逐次刊行物	視聴覚	合 計	図 書	逐次刊行物	視聴覚	合 計
22年	18,181	6,261	291	24,733	590,606	142,250	10,441	743,297
23年	18,708	5,898	151	24,757	609,276	134,025	10,589	753,890

平成23年貸出ランキング

平成23年中に当館において貸出の多い順に集計しました。

一般和書

(平成23年1月～12月)

順位	書 名	著 者	出 版 社
1	新参者	東 野 圭 吾	講談社
2	告白	湊 かなえ	双葉社
3	1Q84 BOOK 3	村 上 春 樹	新潮社
3	食堂かたつむり	小 川 糸	ポプラ社
3	流星の絆	東 野 圭 吾	講談社
6	1Q84 BOOK 1	村 上 春 樹	新潮社
7	カッコウの卵は誰のもの	東 野 圭 吾	光文社
8	謎解きはディナーのあとで 1	東 川 篤 哉	小学館
9	1Q84 BOOK 2	村 上 春 樹	新潮社
10	往復書簡	湊 かなえ	幻冬社
10	神様のカルテ	夏 川 草 介	小学館
10	夜行観覧車	湊 かなえ	双葉社

ヤングアダルトおすすめ本

当館では、1階フロアにおいてヤングアダルト（中・高校生）おすすめ本を展示しています。
その中で貸出の多い図書を紹介します。

書 名	著 者	出 版 社
読んで楽しむのだめカンタービレの音楽会	茂 木 大 輔	講談社
食堂かたつむり	小 川 糸	ポプラ社
五龍世界（ウーロンワールド）	壁 井 ユカコ	ポプラ社
神々の午睡（うたたね）	あさの あつこ	学研パブリッシング
和菓子のアン	坂 木 司	光文社
10代のうちに考えておくこと（岩波ジュニア新書）	香 山 リカ	岩波書店
キリン	山 田 悠 介	角川書店

お知らせ

平成24年度の企画展示をお知らせします

◆春のこども読書週間企画展

「出発！のりもの絵本」

期日：平成24年4月17日(火)～5月13日(日)

場所：県立図書館1Fフロア

内容：日常生活になくてはならない「のりもの」は旅客・物資の輸送と同時に、文化の輸送の担い手でもありました。

今年は、東京駅と山形駅の間を新幹線が開業してから20周年を迎える記念の年です。また、明治5年(1872)、日本に最初の鉄道が敷かれてから140年を迎えます。この記念の年に合わせ、「のりもの絵本」を紹介します。

◆秋の読書週間企画展

「2011～2012 県内出版物展」

期日：平成24年10月

場所：県立図書館1Fフロア

内容：前年10月から1年間に出版された県内出版物(県人等の著書及び郷土資料)を展示し紹介します。

◆その他の企画展

夏にイギリスで開催される「ロンドンオリンピック特集」、9月の「敬老の日 読書のすすめ」、2月の「若い人に贈る本」「2012年文学賞等受賞作品」など、年間を通して様々な企画展を予定しています。

★館内展示コーナー

館内では、上記の展示のほか、「ビジネス支援図書展示」や「ヤングアダルトおすすめ本」の展示を随時行っています。

平成24年度からは、新規に利用者の抱える悩みや課題の解決に役立つテーマを取り上げ、情報を発信していきますので是非ご利用ください。

便利なサービスをご案内します

当館では、直接来館できない方も当館の資料をご利用いただけるサービスや、借りたい本を簡単に探すことができるサービスなどを提供しています。

◆相互貸借サービス

地元図書館に借りたい資料がないとき、地元図書館を通じて当館の資料を借りることができます。地元図書館に申し込んでください。

◆インターネット予約サービス

当館の資料を、ご自宅のパソコンや携帯電話から当館のホームページを通じて予約し、当館や地元図書館で受取・返却することができます。

◆遠隔地返却サービス

当館に来館して借りた資料を、地元図書館に返却することができます。資料を借りる際に、当館のカウンターに申し込んでください。

◆宅配サービス(有料)

当館の資料を宅配便で、直接ご自宅にお送りします。

お送りする資料の重さに応じて宅配料金(10kg以下で片道210円)をご負担いただく必要がありますが、地元図書館までの交通の便の悪い方や高齢や障がいなどのために当館への来館が困難な方などからは喜ばれています。

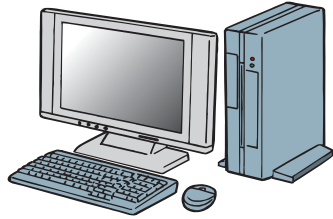
◆調査・相談(レファレンス)サービス

当館の職員が、調べものや研究などのお手伝いをするサービスです。

★所蔵資料の検索

当館のホームページにある「横断検索」から、市

町村立図書館・公民館図書室や県内大学図書館の資料情報を簡単に検索することができます。借りたい本を探すのに便利です。



学校図書館を応援しています

県内の公立図書館では、県の未来を担う子どもたちの読書活動を応援するため、子どもたちにとって一番身近な拠点である学校図書館を支援しています。

当館を「相談総合窓口」として、市町村立図書館・公民館図書室と連携・協働し、学校図書館からの図書に関する様々なご相談やご要望等に応えていきます。是非ご活用ください。

最近のレファレンスから

Q1 山形市の千歳山にある「堀田文明公ほったぶんめいこうさんひ賛碑」の由来を教えてください。

A1 この碑は、国元6万石および飛地領村山郡内4万石で善政を行ったとして佐倉藩主堀田文明公まさよし（正睦）を讃えた碑です。明治21年に建立されました。

堀田正睦は、文化7年（1810）に生まれ、文政8年（1825）佐倉11万石の藩主となりました。正睦は藩政改革に取組み、儉約を勧めるとともに、文武を奨励し、また、佐藤泰然たいぜん（父は遊佐町出身の佐藤藤左）を江戸から招いて蘭方医学を採用しました。泰然はここで私塾「順天堂」を開きます。

その後、安政2年（1855）阿部正弘に代わって老中首座となりますが、同4年アメリカ総領事ハリスから通商条約の締結を要望され、交渉の結果、翌5年正月、条約が妥結します。しかし、孝明天皇の勅許は得られませんでした。

安政6年（1859）、家督を嫡子の正倫まさともに譲り隠居。元治元年（1864）、佐倉城内で死去。55歳でした。

正睦の諡は、「文明院殿見山静心哲惠大居士」。文明はここから採ったものと思われます。

参考文献：「瀧山の歴史」「山形市史」「日本近世人名辞典」「佐倉史団談」「遊佐ゆかりの人々」

Q2 奈良時代、渤海国ほっかいこく（※1）の人が出羽国に何度も漂着したことがあるというのは本当ですか。

A2 本当です。当館が所蔵する資料には次のような記載があります。

神亀4年（727）9月、初めて渤海国の使者24人が出羽国に到着し、そのうち8人が入朝。翌年正月には朝廷の行事に参列しています。これが日本と渤海国の外交のはじまりとされています。

第2回目の渤海使も出羽国に到着しており、その後も、天平18年（746）には、渤海人と鉄利人てつりじん（※2）の1,100余人が出羽国に着き、帰化を望んだが、朝廷から衣服食糧を与えられ放還されています。

宝亀10年（779）にも渤海人・鉄利人359人が出羽に到着し、帰化を要請したが、やはり翌年放還されています。

なお、渤海使船の大きさは、宝亀2年（771）の到着の時は、渤海人325人が船17隻に分乗しており、1隻平均20人弱で、遣唐使船（120人）よりはるかに小型のものでした。

※1 渤海国 満州東南部から朝鮮半島北部にあったツングース系の民族国家。

※2 鉄利人 渤海国に服属した靺鞨部族。

参考文献：「酒田市史 改訂版・上巻」「遊佐町史 上巻」

こんなとき困るんですけど

Q1 自分のパソコンを使うことはできますか？

A1 ご自分のパソコンを使うことができる席を6席ご用意しています。1階総合案内カウンターで「着席証」をお受け取りください。

なお、ご自分のパソコンでは、インターネットの閲覧や印刷はできませんのでご了承ください。

Q2 インターネットを利用することはできますか？

A2 館内でインターネットを閲覧できる席を2席ご用意しています。1階調査カウンターで「着席証」をお受け取りください。

なお、席数に限りがありますので、ご利用はお1人1日1時間までとなっています。

Q3 本の検索はどのようにするのですか？

A3 館内では、OPAC（館内検索用端末）で蔵書の検索をすることができます。

また、ご自宅のパソコンまたは携帯電話か

ら当館ホームページを通じて検索することもできます。

ご不明の点があれば、お気軽にカウンターにお問い合わせください。

Q4 本を検索した結果、場所が「閉架」となっていました。どこにありますか？

A4 「閉架」と表示された資料は、地下書庫等にありますが、カウンターにお申し付けください。

Q5 県立図書館に所蔵がない本を読みたいのですが、方法はありませんか？

A5 お探しの本がない場合は、「貸出予約申込書」にご記入のうえカウンターにお申込みください。他の図書館から取寄せするか、購入するか等を検討いたします。

なお、購入の希望は、お1人1ヵ月に2冊までとなります。

交通案内（県立図書館へのアクセス）

バス：山形駅前から

- ・『沼の辺行き』乗車。
遊学館前下車、すぐ。
- ・『市役所前経由路線』乗車。
市役所前下車、徒歩約6分。

タクシー：山形駅前から約10分。

車の方：・県営駐車場をご利用ください。

- ・図書館をご利用の方は最長2時間まで無料です。
- ・おいでの際とお帰りの際の2回、1階正面玄関左側の遊学館総合受付に駐車券をお出しください。



■山形県立図書館のご案内

〒990-0041 山形市緑町1-2-36

TEL 023-631-2523 / FAX 023-625-6520 ホームページ <http://www.lib.pref.yamagata.jp/>

開館時間 9:00~19:00

休館日 月曜日、毎月の第3日曜日、年末年始、特別整理期間